

PCAを用いた術後疼痛管理への患者教育を試みて

— B病棟6階で手術を受けた患者33名へのアンケートを実施して—

B棟6階

○小川圭子 水越幸
澤田真由美

I. はじめに

私達の勤務する消化器外科病棟において、手術前の患者から受ける質問の多くは術後疼痛についてである。患者の疼痛への関心は高く、誰もが疼痛への不安を募らせている。また疼痛のために離床が進まず術後合併症を来す恐れもあり、術後の疼痛管理は重要となる。当院では平成12年度より、麻酔科にて術後疼痛緩和手段である硬膜外持続注入法に加え Patient Controlled Analgesia (以下PCA) の併用が導入された。PCAとは「患者が痛みを感じた時に予め医師によって処方された一定量の薬剤を自分自身の判断で投与し鎮痛を得る方法」である。今回患者がPCAを効果的に使えるよう術前から術後にかけて患者教育を行い、患者の疼痛管理への参加を促すことを試みた。この研究を通して患者教育の重要性を再認識する事ができたのでここに報告する。

II. 研究方法

1. 調査期間 平成14年8月1日～平成14年9月30日
2. 調査対象 当科にて手術をうけるPCA挿入予定の35～80歳の患者(平均58歳)男女計33名。尚、精神疾患のある患者は対象外とした。術前PCAについてオリエンテーションを行った人と、行わなかった人の2群に分け患者教育の有効性について比較、検討した。また患者には研究の意図を説明し、協力を得られた患者を対象とした。
3. 調査方法 非オリエンテーション群(以下非オリ群)の患者は術前の麻酔科受診時に医師よりPCAの効果、副作用、使用方法について説明を受けた。その後は従来通り、手術後のPCA使用は患者の自主性に任せた。麻酔科受診後にアンケートを行い患者の抱えているPCAに対する理解の程度を把握した。それを基にオリエンテーション群(以下オリ群)の患者には麻酔科での説明に加えて手術前後に看護師からもPCAのオリエンテーションを行った。尚、病棟スタッフにはオリエンテーションの統一を図るため、事前に患者への教育内容、PCA体験学習のマニュアルを配布した。

PCAの使用方法については、体験学習として手術前日に実際の器具を用いて看護師の説明のもと、患者にPCAを押す練習をしてもらった。更に術後、患者の意識がはっきりし痛みの訴えがあれば、看護師が使用方法を説明しながらPCAを使用する。2回目は看護師が

見守り患者が使用する。3回目以後のPCA使用は患者の自己管理とした(表1)。そして非オリ群とオリ群に術後4日目(歩行まで離床が進む頃)にアンケートを行い(表2, 3, 4)PCAの自立状況及びオリエンテーションの反応を検討した。

III. 結 果

麻酔科受診後にPCAについて理解できたか問うと、非オリ群とオリ群全体の42%が効果及び使用方法を、16%が副作用について理解できたと答えた(図1)。また、非オリ群の術後アンケートでは、PCAを自分で使用した人は30%であった(図2)。使用しなかった70%の人の理由は「使用方法がわからなかった、自分で使うのが怖かった、自分で使っていい事を忘れていた、痛くなかった」であった。看護師からの説明があった方が良かったかという問いにはそう思うが47%であった(図3)。説明してほしい内容は使用方法についてが多かった。オリ群の術後アンケートではPCAを自己で使った人は85%で非オリ群を大きく上回った(図4)。オリエンテーションについての反応は「実際の器具を使ったので使用法は理解できた」「手術後に再び看護師が使い方を説明したので安心できた」「看護師による痛み止めへの説明があつて良かった」という解答が全て75%以上を占めた(図5)。以上の結果よりオリエンテーションを支持する解答が多かった。

IV. 考 察

患者は術後疼痛への不安を術前から抱いているが、疼痛緩和についての知識は乏しい。

森らは「術後疼痛管理は、術後から開始するのではなく術前からの計画に従って一貫した疼痛管理を行うことが望ましい」と述べている。今回、患者のPCAに対する理解の程度を把握し教育を行った。そのひとつとして、紙面での説明に加えて術前に実際の器具を使って体験学習を行なった。このことは、単に患者は説明を聞くだけでなく、体験学習をとり入れて実際にPCAを見て触れることでPCAに対するイメージ化がはかれ使用法が理解でき、術後スムーズに疼痛管理に参加できたと考える。しかし、オリ群の中でも使用しなかった人もおり、理由としてPCAの効果が充分でなかった事や疼痛閾値の差、あるいは術式や創の状態、患者自身の性格等の違いがある為と考える。今回はPCAに焦点をあてた教育を行ないPCA以外の疼痛管理法についての情報提供は行わなかった。しかし電法や体位の工夫、マッサージといった援助も疼痛緩和に役立つことやPCA以外の薬剤も使用できる事を説明する必要がある。森らは「疼痛は主観的感覚であり、痛みの強さや性状を客観的に評価することは難しい。しかし、PCA術後のより良い患者ケアの為に患者の疼痛の状態、鎮痛効果を適切に判断することが求められる。」と述べている。患者の訴えに合った方法を選択し実施することで、より患者の苦痛及び疼痛に対する不安の軽減につながると考える。

V. ま と め

今回の研究の結果より、患者教育を行うことでP C Aを自己で使用する機会が増え痛みに対する不安が軽減されたという意見も多かった。従って患者の疼痛管理への参加は精神的にも良い影響をもたらしたと考える。今回の研究を基に患者教育を充実させ、より良い術後疼痛管理を目指したい。

【文 献】

- (1) 森左貴子；P C Aシステムを用いた皮下持続注入法による術後疼痛管理第 29 回成人看護 I, p50 - 52, 1998.
- (2) 木下幸大；痛みの治療・コントロールの現在 P C A, 看護技術, Vol.45 No.5 p 476 - 481, 1999.
- (3) 桐山靖代；P C Aシステム, Nursing・today, 臨時増刊号 10 月, p 114 - 119 1999.

表1. PCAオリエンテーション

- 患者への教育内容
- ①手術後の痛みは我慢する必要がないこと
 - ②痛みを我慢することによっておこるデメリット
 - 1、血圧上昇につながる
 - 2、体動に消極的になり、腸蠕動の回復の妨げになる
 - 3、体動に消極的になり、床ずれをまねく
 - 4、咳をする事に消極的になり、痰を出さないことで肺合併症を招く
 - 5、精神的苦痛となる
 - ③薬剤使用による耐性や依存を心配する必要はないこと
 - ④副作用(血圧低下、嘔気、痒痒感)
 - ⑤PCAの使用方法的説明(PCA体験学習にて)
- PCA体験学習
- <術前> 手術前日に、その日の受け持ち看護師が行う
- 実際のPCA機器を用いて使用方法を説明し、患者に操作してもらう
- <術後>
- 意識のはっきりした頃に痛みの訴えがあれば看護師にて説明し実施する
 - 2回目は看護師が見守り、患者が使用する
 - 3回目からは患者の自己管理とする

表2. 麻酔科受診後のアンケート (非オリ群とオリ群)

- <アンケート>
- 手術を受けられる患者様の、手術後の痛み止めに関する研究を行っています。患者様のご意見を聞かせて頂きたいので、アンケートにご協力をお願いします。なお、手術後もアンケート調査を予定していますので、ご協力をお願いします。
- 当てはまるものに○をつけて下さい
- 1、麻酔科受診時、「背中から入れる痛み止め」について説明を受けましたか？
 - a 受けた
 - b 受けていない
- 以下の質問は「受けた」と答えた方にお答え下さい
- 2、「背中から入れる痛み止め」について理解できましたか？

理解できたものに○をつけて下さい

 - a 薬の効果について
 - b 薬の副作用について
 - c 薬の使い方について
 - 3、「背中から入れる痛み止め」についてどう思われましたか？(複数回答可)
 - a 看護師を呼びなくても自分で薬を使えるのが嬉しい
 - b すぐ使える薬が自分のそばにあるのは安心
 - c 自分で薬を使うのは怖い
 - d 副作用が心配
 - e 動くのに邪魔になりそう
 - f 薬をつかうことが癖になりそう
 - g その他 ()
 - 4、「背中から入れる痛み止め」を自分で使う(押す)と思いますか？
 - a 自分で使うと思う
 - b 自分で使わないと思う(理由:)
 - 5、「背中から入れる痛み止め」についてもっと詳しく説明してほしいですか？
 - a 説明してほしい(理由:)
 - b 説明しなくていい(理由:)

表3. 非オリ群・術後4日目アンケート

- <アンケート>
- 手術前に「背中から入れる痛み止め」に関するアンケートに御協力頂きましたが、手術後、患者様が「背中から入れる痛み止め」に関してどのような感想をお持ちかお聞きしたいので、再度アンケートにご協力をお願いします
- 当てはまるものに○をつけて下さい
- 1、手術後「背中から入れる痛み止め」を御自分で使われましたか？
 - a 自分で使った
 - b 自分で使わなかった
 - 2、「自分で使った」と答えた方にお尋ねします

使ってみていかがでしたか？下記に示した項目についてお答え下さい 右の中から一番近いと思われるものを1つだけ選んで、○印で囲んで下さい

そう思う ややそう思う あまり思わない 思わない

 - a 薬が効いた
 - b 看護師に言わず自分で使えるので気兼ねしなくてよかった
 - c 自分で使うのは勇気がいった
 - d 副作用が気になった
 - e その他 ()
 - 3、「自分で使わなかった」と答えた方にお尋ねします

なぜ、御自分で使われなかったのですか？(複数回答可)

 - a 痛くなかったから
 - b 「背中から入れる痛み止め」のことを忘れていた
 - c 自分で押している事を忘れていた
 - d 自分で使うのが怖かった
 - e 副作用が心配だった
 - f 薬を使うことがくせになりそうだったから
 - g 使用方法がわからなかった
 - h くだが多すぎてどれが痛み止めかわからなかった
 - i その他 ()
 - 4、「背中から入れる痛み止め」について麻酔科の医師から説明があったり、看護師からも説明があった方がよかったですか？
 - a 看護師からの説明もしてほしかった

そう思う ややそう思う あまり思わない 思わない
 - b 麻酔科の医師からの説明だけでいい

そう思う ややそう思う あまり思わない 思わない
 - 5、「看護師からの説明もしてほしかった」と答えた方にお尋ねします。何について説明してほしかったのですか？
 - a 使い方(押し方)
 - b 副作用
 - c その他 ()
- 以上でアンケートは終了です。2回のアンケート、ご協力ありがとうございました。
- B棟6階 看護師

表4. オリ群・術後4日目アンケート

- <アンケート>
- 手術前に「背中から入れる痛み止め」に関するアンケートに御協力頂きありがとうございました。実際、手術後に患者様が「背中から入れる痛み止め」に関してどのような感想をお持ちかお聞きしたいので、再度アンケートにご協力をお願いします
- 当てはまるものに○をつけて下さい
- 1、手術後「背中から入れる痛み止め」を御自分で使われましたか？
 - a 自分で使った (1回のみ 2-5回 5回以上)
 - b 自分で使わなかった
 - 2、「自分で使った」と答えた方にお尋ねします

手術前日と手術後に「背中から入れる痛み止め」についての説明をしましたが、いかがでしたか？下記に示した項目についてそれぞれ一番近いと思われるものを1つ選んで○をつけて下さい

 - a 実際の器具を使ったので使用方法は理解できていた

そう思う ややそう思う あまり思わない 思わない
 - b 手術後に再び看護師が押し方を説明したので安心できた

そう思う ややそう思う あまり思わない 思わない
 - c 自分の痛みに合わせて使用することができて満足だった

そう思う ややそう思う あまり思わない 思わない
 - d 自分で薬を使ったことで痛みに対する不安が軽減された

そう思う ややそう思う あまり思わない 思わない
 - e 看護師による痛み止めへの説明があつてよかった

そう思う ややそう思う あまり思わない 思わない
 - 3、「自分で使わなかった」と答えた方にお尋ねします

なぜ、御自分で使用しませんでしたか？(複数回答可)

 - a 痛くなかったから
 - b 自分で押すのが怖い看護士にしてほしかった
 - c 説明をいろいろ聞きすぎて使うのが怖くなった
 - d 副作用が心配だった
 - e 薬を使うことがくせになりそうだったから
 - f その他 ()
 - 4、麻酔科だけの説明だけでなく、看護師からの説明があつた事はいかがでしたか？
 - a よかった
 - b 麻酔科の説明だけでよかった(理由:)
- 以上でアンケートは終了です。2回のアンケート、ご協力ありがとうございました。
- B棟6階 看護師

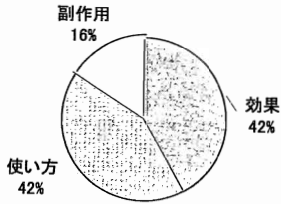
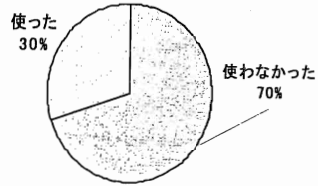


図1.(麻酔科受診後)PCAについて理解できた内容は何ですか (非オリ群とオリ群)



使わなかった理由

- ・使用方法が解らなかった
- ・自分で使うのが怖かった
- ・自分で使っていい事を忘れていた
- ・痛くなかった

図2.PCAの自己使用度 (非オリ群)

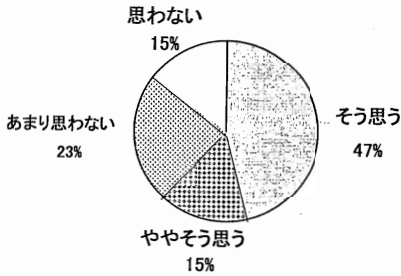


図3. 看護師からの説明があった方が良かったですか。(非オリ群)

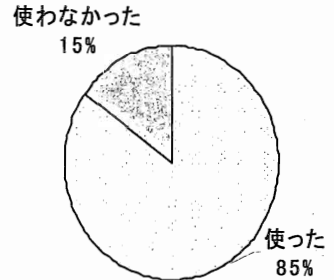


図4. PCAの自己使用度 (オリ群)

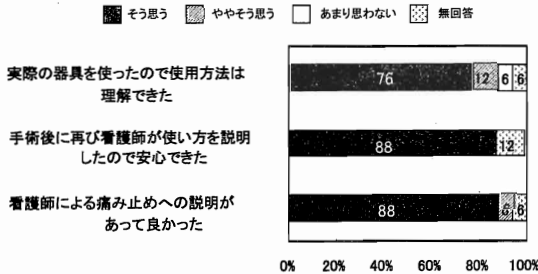


図5. オリエンテーションについての反応